

南方小学校最後の学習発表会

6年生

今年は、戦後70年。そして、南方小学校として最後の年。戦後の大変な時期を乗り越え、南方小学校の伝統を引き継いでくださった地域のみなさん。地域のみなさん方に感謝の気持ちを込めて、6年間で学んできた大切なことを劇にして発表しました。



《食事》

お腹いっぱい食べることができなかつたひもじさと、子どもたちに満足がいくまで食べさせることができなかった母親のつらさを劇にしました。

《疎開》

教師が、児童に、集団疎開か、縁故疎開にするのかを決めてきてくださいと説明をしているところです。



《疎開先》

お母さんに会いたくて、泣いている弟を慰めるシーンです。



《竹やりの訓練の様子》

教師に「だらだらするな」と叱られながら竹やりの訓練をしている場面です。



《建物疎開の場面》

なぜ建物疎開が大切な仕事なのかを教師から説明を受けている場面です。

《ひとりひとりの決意》

最後は、一人ひとりが決意を述べました。

私は、ほくは、いつも笑顔でいるようにします。人の悲しみが分かるようになります。

